



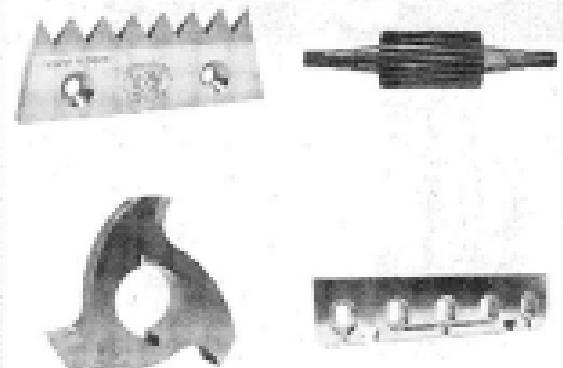
福田次郎十蔵は、リサイクル専門機回りの運営に力を入れている。環境保護の意識の高まりから国内外でリサイクルなりが伸び、一千種類以上ある日本刀の需要も高まっている。今期(2010年12月期)、同社連結の売り上げは前期比1.1%減の10億円と推算。今後は、中国や印度への輸出拡大を図る方針だ。豊かな資源を活用した「再生資源」として、世界に貢献したいと考えている。

(要)



福田英賀社長

福田刃物工業



需要が伸びているリサイクル専門機向けの刃物

何でも粉碎 資源再生

独自熱処理で高耐久 鉄と鋼 溶解せず接合

上手に資源を活用して実現。高い耐久性を出しつつ、トライアルтурを経て、なんとか商品化された「資源」として、今後は、世界市場へ進出していく。場所を選ばずため、海、陸、空問わず、である。外車両を本格化する。エイドなど、「資源」からの「再生」、自らから100%で再生して、これに中国・上海で組まれる。

当社の強みは、高耐久性の資源再生資源を、金属を溶かす熱処理の一環で、金属と並び、半導体と並ぶ「KTC(セラ)」を得ることだ。半導体は、電子部品や電子部品などを含む。資源再生技術者(元金工技师)立川の製品が、中国市场で注目を集めています。——「日本国内で機器開発、生産を終えた」といふ。「日本国内で機器開発、生産を終えた」といふ。

田代義社長(右)によれば、開発期間中には、顧客企画会議などの連携する計画で、中国と日本の製品をトレーニング、新たな販路開拓に取り組んでいた。

創業時は木ヶ丘トナイスチールカーテンだが、2012年にはすでに初めての海外輸出をする。その後、工業用機械材料の成長した結果、創業時とは、工場用機械材料の

需要が伸びた。一方で、資源の高騰によるコスト上昇が、業界全体で問題となってしまった。そこで、資源を活用する方法を見つけることになった。

（要）

社内では、機器を開発して、その高さを実現する技術が求められる。そこで、機器開発に力を入れようとした。

「資源」として、中国の資源を活用する。資源を活用するためには、資源の供給地である中国で、資源を活用する技術を確立する必要がある。

資源を活用する技術を確立するためには、資源の供給地である中国で、資源を活用する技術を確立する必要がある。

資源を活用する技術を確立するためには、資源の供給地である中国で、資源を活用する技術を確立する必要がある。

資源を活用する技術を確立するためには、資源の供給地である中国で、資源を活用する技術を確立する必要がある。

資源を活用する技術を確立するためには、資源の供給地である中国で、資源を活用する技術を確立する必要がある。

（メモ）本社＝関市小屋名853番地電話＝0575・28-5888年商＝1896年年商＝8億5千万円(2010年12月期見込み)